

社会保障の連続削減を中止し、充実を求める請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

【請願趣旨】

社会保障のためと言って消費税を増税しながら、手あたり次第の改悪に国民の悲鳴と怒りの声があがっています。

安倍内閣は「社会保障の自然増に切り込む」という大方針を掲げ、社会保障の現状さえ維持せずに、際限のない負担増と削減をすすめるようとしています。年金は実質1・4%のマイナス、介護報酬も2・27%引き下げ、高齢者医療の負担増に加え入院給食費の値上げ、生活保護の削減をはじめ、「老いも若きも負担増」ばかりです。

そもそも国には、憲法25条にもとづき社会保障を充実させる責任があります。そして社会保障政策は、経済成長にとっても有効であり、全国的な地方の活性化、雇用拡大にもつながります。

消費税を増税しなくても、所得や資産の能力に応じた「応能負担の原則」にたった税制改革を行い、賃上げ・国民の所得を増やす経済政策に切り換えて税収を増やせば、社会保障拡充の財源は十分確保できます。

よって、以下の点を強く求めます。

【請願事項】

一、社会保障の連続削減を中止し、年金、医療、介護、福祉の充実をはかること。

氏 名	住 所

日本共産党